



まち
さくら市地球環境にやさしい小都市
宣言について

～二酸化炭素実質排出量ゼロに向けて～

さくら市生活環境課

さくら市は
「2050年までに二酸化炭素排出量実質ゼロ」
を目指します。

実質排出量0とは

二酸化炭素などの温室効果ガスの人為的な発生源による排出量と、森林等の吸収源による除去量との間の均衡を達成すること。このことをカーボンニュートラルともいう。

二酸化炭素排出量実質ゼロに向けて

これまでの経緯

- 2015年 国連でパリ協定が採択
気候変動に関する世界共通の長期目標を各国が合意
- 2020年 菅内閣総理大臣所信表明
国が2050年までにカーボンニュートラルをめざすことを宣言

宣言の背景

近年、国内外で様々な気象災害が発生しています。個々の気象災害と気候変動問題との関係を明らかにすることは容易ではありませんが、気候変動に伴い今後、豪雨や猛暑のリスクがさらに高まると予想されています。こうした状況は、もはや単なる「気候変動」ではなく、私たち人類や全ての生き物にとっての生存基盤を揺るがす「気候危機」ともいわれています。

気候変動の原因となっている温室効果ガスは市民の日常生活、事業活動に伴い排出されています。温室効果ガス削減に向けて誰もが無関係でなく、あらゆる主体が積極的に取り組む必要があります。誰もが安心して暮らせる持続可能で豊かな自然環境を次世代につないでいくために、そして未来のさくら市のために『2050年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロ』の実現を目指します。

二酸化炭素排出量実質ゼロに向けて

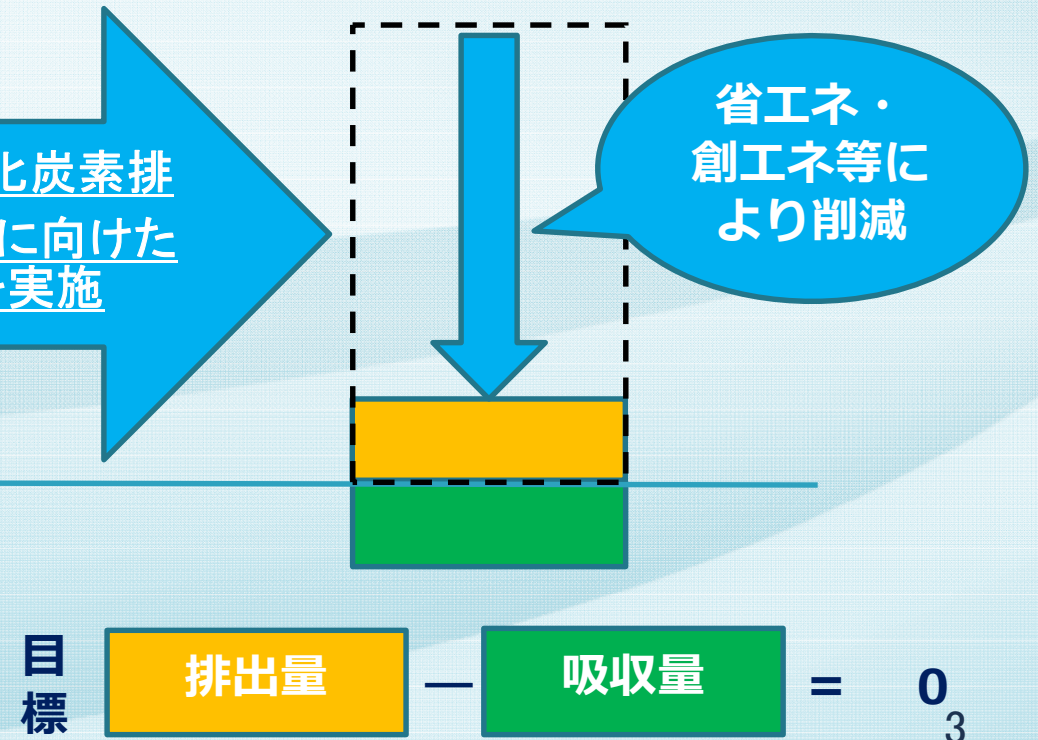
温室効果ガスの現状と目標について

現状（2020年）



2050年二酸化炭素排出量実質ゼロに向けた取り組みを実施

目標（2050年）



二酸化炭素排出量実質ゼロに向けて

二酸化炭素排出量実質ゼロに向けた主な取り組み

2050年脱炭素社会の実現に向けた取り組みを加速するため『さくら市気候変動対策推進計画』を策定し、計画に基づき、脱炭素に向けた取り組みを推進していきます。新たな施策取り組みを検討しながら「2050年二酸化炭素排出実質ゼロ」を目指します。

『さくら市気候変動対策推進計画』とは

さくら市気候変動対策推進計画は、本市における気候変動対策に関する施策の基本となるものとして、温室効果ガス排出削減等の対策である「地球温暖化対策実行計画」（地球温暖化対策推進法第21条第1項の規定に基づく）と気候変動による影響対策である「地域気候変動適応計画」（気候変動適応法第12条の規定に基づく）を包含し、二つの計画を車の両輪として総合的かつ計画的に推進するための計画である。

二酸化炭素排出量実質ゼロに向けて

さくら市気候変動対策推進計画の内容

体系図

【将来ビジョン】

【基本方針】

【施策】

緩和策
カーボンニュートラルを目指す

適応策
気候変動の影響を防止する

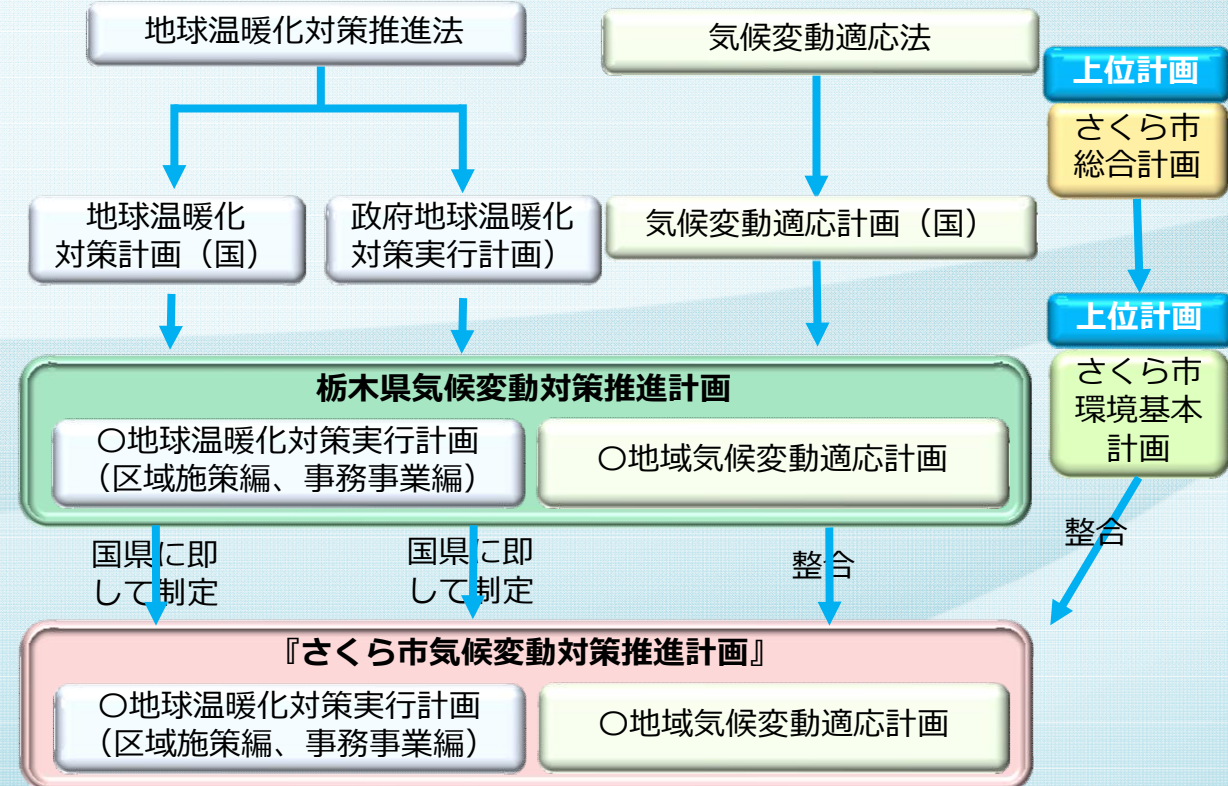
- 家庭・事業所における省エネルギー対策
- 脱炭素型のまちづくり
- 市内への再生可能エネルギー導入・活用推進
- 多様な手法による温室効果ガス削減の取組推進
- 市における率先的な取組の推進

- 農業分野における対策
- 水資源の対策
- 自然災害対策
- 健康への影響対策
- 生活基盤における対策

さくら市気候変動対策推進計画

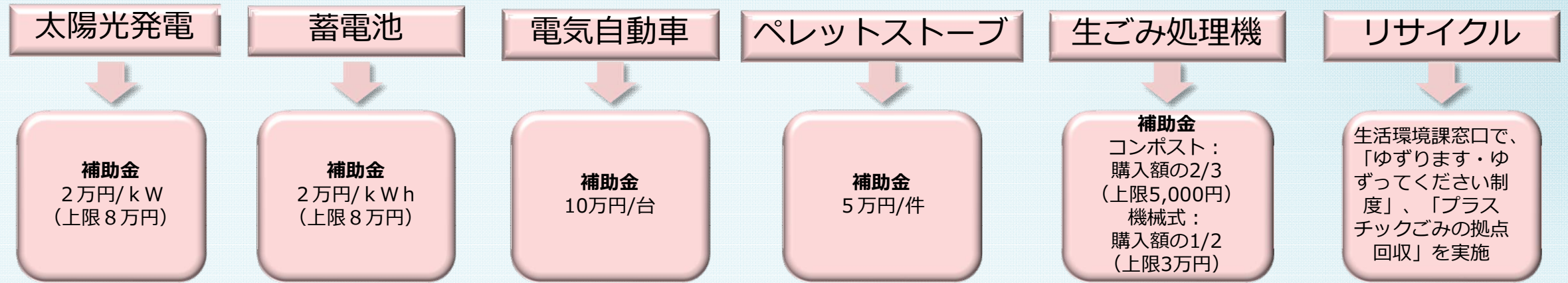
地球環境にやさしい小都市 さくら

計画の位置づけ

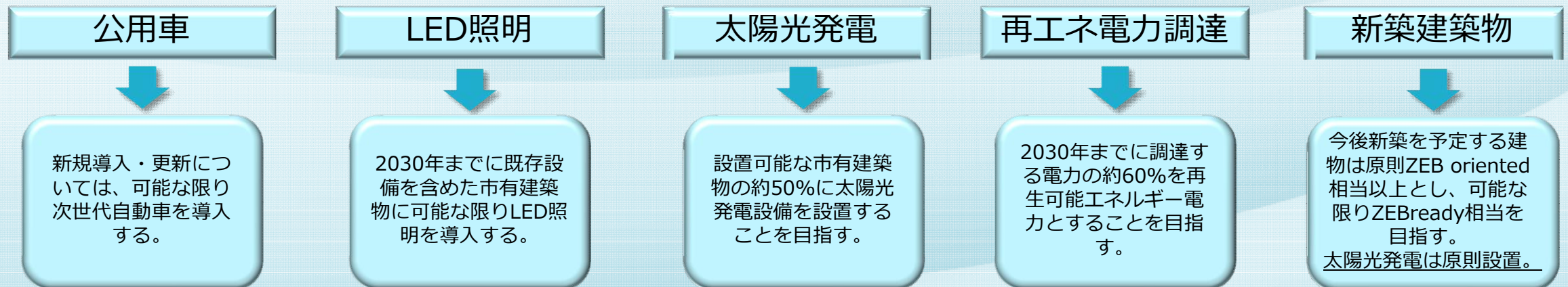


二酸化炭素排出量実質ゼロに向けて

市民の取り組みを支援



市役所内の取り組み



二酸化炭素排出量実質ゼロに向けて

2050年までの流れ

